

成田山 (北魚・小出町)

■環境：公園 森林
 ■対象：家族
 ■期間：4月～10月
 4月下旬～
 6月下旬

成田山鳥獣保護区の北端、藤権現は魚沼丘陵の先端で、春秋は渡り鳥の通過地点である。町の中央を流れる魚野川はカモの越冬地として親しまれている。

<冬鳥は、しぐれとともに飛来する>

オオヨシキリが去り、秋、中州に休息していたササゴイも去って寂しかった魚野川がカモで急ににぎやかになるのは、冬型の気圧配置となって海が荒れ、しぐれが降るころからである。

青島大橋から只見線の四日町鉄橋まで2kmの魚野川は、成田山鳥獣保護区の中心部に位置する。11月15日狩猟解禁とともに安心して休息できるこの清流に集まるカモの仲間はその数量だけでなく、種の数も年々増加している。一番多いのがカルガモで、次にホシハ

ジロが多い。ミコアイサのような珍しい種もいるが、川の中流部を特色づけるカワアイサやオシドリも見られる。ハクチョウはオオハクチョウが多くコハクチョウがほとんど見られないのが下越と違う点である。

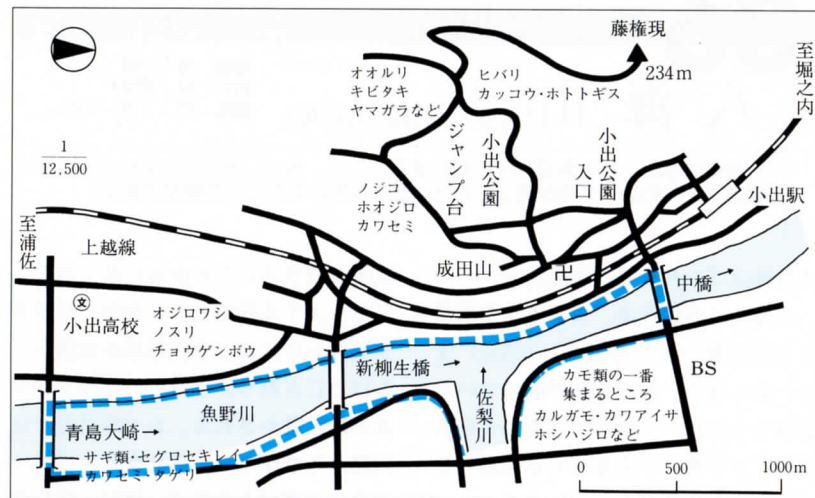
カモのほかには、サギやカイツブリの仲間も多い。ヤマセミが冬の間はカワセミとともに魚野川で採餌している。ワシ・タカ科のオジロワシ、ハヤブサも常連となっている。

<フェーンの南風によって夏鳥が>

魚野川からユリカモメが北へ旅立つ



中橋下流から望む藤権現



4月中旬、フェーン現象による強い南風が魚沼丘陵に夏鳥を連れてくる。4月の中旬から下旬にかけて、この保護区全体で一日に50種を超える野鳥が観察される日も珍しくない。北海道へ渡るノゴマや高原をめざすノビタキなどが見られるのもこの季節である。

渡りの一段落した5月の山林には、オオルリ、キビタキ、クロツグミなど30種を超える夏の鳥が早朝の山野にさえずる。なだれが削った山の急斜面には、魚沼に特に多いといわれるノジコがホオジロと歌を競う。

梅雨明けの暑い夏、野鳥がさえずりをやめた山川はしばらく静かになるが、9月も中旬になると各地で繁殖した鳥たちが群れをなして南下する。特に大群を作るのはショウドウツバメで、ま

た魚沼丘陵はサシバ、ハチクマ、ノスリなどの渡りのコースとなっている。この保護区で観察された野鳥の種類は110種に及ぶ。

(柳瀬昭彦)

メモ

交通 JR小出駅下車、越後交通バス本町下車。藤権現、魚野川とも徒歩道がある。

② 小出スキー場、公園内に駐車場、トイレがある。佐梨川と魚野川の合流部の資料館にもトイレがある。

探鳥会 小出野鳥の会が5月と冬季に探鳥会を開く。

道草 小出公園内に貞信尼の歌碑と山岡莊八の句碑がある。秋の公園はコスモスが美しい。

民家を描く早津剛のギャラリーも近い。